

広告・サインの地域ルール作り①

これまでの経緯

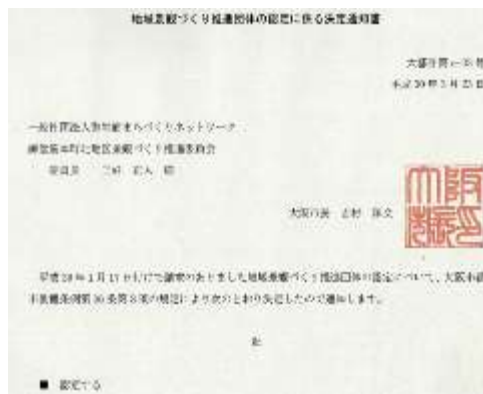
2014.1 市がデザインガイドライン制定



2017.3 御堂ネットで地域ルール案策定(日建設計に委託)



2018.3 御堂ネットが「地域景観づくり推進団体」(第1号)認定を受ける



2019.3 市からのアドバイザー派遣(日建設計)の助成を受け、「地域景観づくり協定」の素案を策定



- ①サイン全体の大きさ・文字の大きさ・色合い等の基準等
- ②ガラス面利用について
- ③暫定利用・イベント対応時の特例について

2019年度の活動予定

引き続き日建設計を地域景観アドバイザーとして派遣いただき、合意形成・協定締結を目指す(市からの補助:200万円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)検討方針検討												
①検討課題の整理等	コンセプト・課題の検討											
②運用方法の検討	運用方法の検討		協定案の項目確認、作成方法検討		手続書式等の作成							
(2)協定案の策定												
①協定案の策定	協定案の項目確認、作成方法検討		協定案の作成			合意形成に伴う見直し等						
②運用マニュアルの作成	検討に合わせたマニュアル要素の抽出						運用マニュアルの項目整理			運用マニュアルの素案の作成		
(3)合意形成												
①権利調査等							登記簿調査・権利者リスト作成					
②合意形成							説明資料等の作成、説明会の実施		合意形成		協定締結 12	

広告・サインの地域ルール作り②

ビル名・テナント名等 | ○望ましいと考えるものの例

切文字の使用やコーポレートカラーを使用しないことなどで、建物の外観デザインとも調和



文字の背景(看板等)を設ける場合であっても、使用する色の彩度を抑える等の工夫により、建物の意匠と調和



高彩度コーポレートカラーなどは、使用を控える、彩度を下げる等の工夫により、建物の外観や街並みになじみやすくなる



防災・減災エリアの更なる向上による安全・安心なエリアの形成

2015年 安全・安心なまちづくりの取組みスタート(ガイドライン推進部会)

《御堂ネットの取組み》

大阪市の協力を得ながら、計画策定を検討し、御堂筋北地区を安全・安心なまちづくりに取組むまちとしてエリアポテンシャルの向上を目指す

都市再生安全確保計画策定に向けた検討

(経緯)

2016年

内閣府補助を受け基礎調査終了

→ 一時退避者想定 最大6,000人
帰宅困難者想定 最大1,900人

2017年

一時退避施設を壁面後退部分に設定する等地権者調整に着手

大阪市の都市再生緊急整備地域



2018年 安全確保計画策定に向けた検討、調整 (4月以降整備計画策定予定)

〈計画のポイント〉

- ・一時退避者最大6,000人に対し、沿道ビルの壁面後退部分等の約8700㎡の空地があり、一時退避に必要な面積(約6,000㎡)が確保されていることを確認。
- ・一方、帰宅困難者最大1,900人に対しては、現状、退避施設の確保ができていない状況。今後の沿道再開発に際し、退避施設の確保の検討を進める必要がある。
- ・災害時にも平常時と遜色のない都市活動の継続を可能とする途切れないエネルギー供給体制(BCP・BCD構築)の実現に向け、自立・分散型電源の導入や、エネルギーの面的利用の検討を行う旨を計画に盛り込んだ。

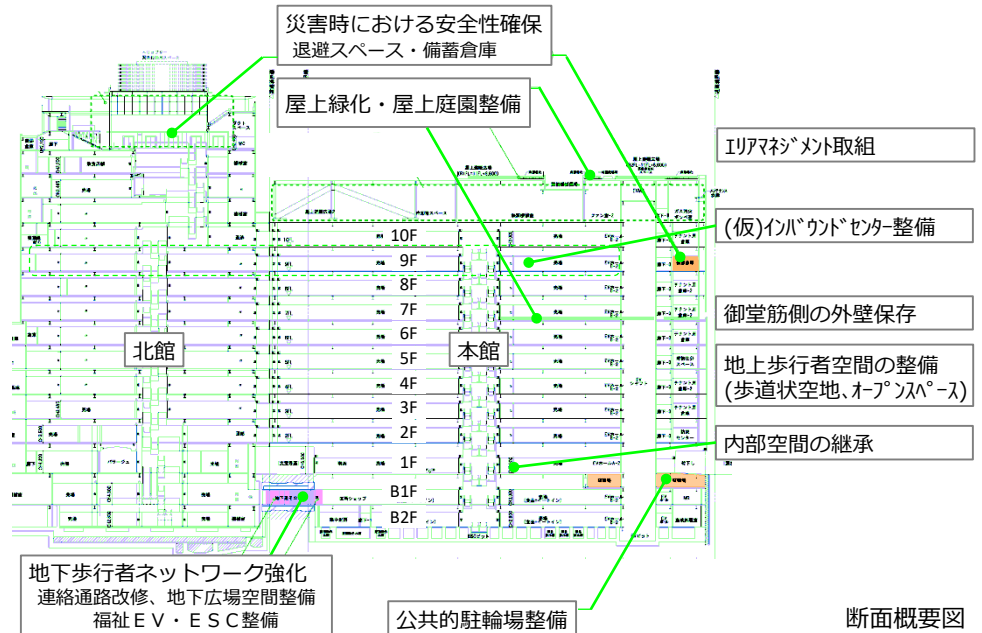
心齋橋筋一丁目地区の整備状況 (大丸心齋橋店本館)

大丸心齋橋店本館の整備状況

■ 外観イメージ



■ 主な公共貢献



■ 建築概要

所在地	大阪市中央区心齋橋一丁目7番1号
敷地面積	10,756㎡ (本館敷地5,616㎡, 道路占用 336㎡, 北館敷地4,804㎡)
延床面積	本館 66,297㎡ (北館との合計 124,775㎡)
階数	地上11階、地下3階
建物高さ	約60m
構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
主な用途	百貨店
監修・基本設計	株式会社 日建設計
実施設計・監理	株式会社 竹中工務店
施工	株式会社 竹中工務店
開業	2019年秋予定

■ 公共貢献 概要抜粋

環境への配慮	高層部屋上の緑化(面積約900㎡)、 中層部屋上のテラスガーデンとしての緑(約110㎡)を整備
緊急災害時の対応	北館14階の多目的ホール・ギャラリー等を館内滞留スペースとして確保。 備蓄倉庫(約80㎡)の設置・物資の常備
歩道状空地	心齋橋筋商店街に面した壁面後退部分(幅員約2.1m×延長約80m)を活かした歩道状空地整備
公共的広場空間	新本館北東角に地下・地上の歩行者動線の結節点となる広場(面積約80㎡)、南東角の心齋橋筋商店街と清水町通りの交差点部に滞留空間となる広場(面積約20㎡)を整備
地下鉄心齋橋駅地下広場の確保	新本館北西玄関前に地下広場(面積約100㎡)を確保
公共的駐輪場の整備	新本館MB1階に390台を確保